

第32回イエズス会校同窓会連絡会議(JJHAF)に参加して

同窓会副会長
山田宏幸(30期)

昨年10月23日に、母校栄光学園を含むカトリック教会イエズス会系の5学校法人(「上智学院」、「六甲学院」、「広島学院」「泰星学園」)は、平成28年4月に法人合併する方向で基本合意したと発表しました。このことは、すでに多くの方がご承知のことと思います。(ちなみに、同窓会は今のところ合併する予定はありません。)

さて、1年に1度、姉妹校の六甲学院、広島学院、上智福岡中学高等学校(泰星学園)との4校で開催される「イエズス会校同窓会連絡会」(JJHAF: The Japan Jesuit Highschool Alumni Federation)が、平成26年11月15日(土)に広島で行われました。今回で32回目の開催となりますが、幹事は持ち回りで広島学院。4校同窓会が、情報や課題を共有し意見を交換するとともに親交を深め、栄光学園同窓会からは菱沼会長と山田が出席しました。

連絡会の会場は、広島駅隣接の「ホテルグランヴィア広島」でしたが、せっかく広島まで行くということと、創立60周年事業として講堂及び聖堂を建て替え中ということで、無理な願いをして連絡会の前に広島学院を訪問させていただくことになりました。12時30分に菱沼会長と現地で合流することとし、私は少し寄り道をして原爆ドームと平和記念公園へ。おそらく35年ぶり?の広島でしたが、戦没者の方々を追悼させていただきました。

広電西広島駅まで路面電車に乗り、駅から学院まではタクシーで行きました。六甲学院も急坂の上でしたが、ご多聞に漏れず広島学院も坂の上にあります。徒歩だと2つ先の「高須」か、3つ先の「古江」という駅から15~20分程度とのことでしたが、きっと道に迷うだろう、日ごろの運動不足から30分の上り坂になるなどと思い、文明の利器に頼りました。

現地では、ご多忙の中、広島学院同窓会の栗屋会長と三谷事務局次長が出迎えてくださいました。しかし、運悪く11月14日から15日にかけては学院行事の追悼式で、全校舎閉め切りということで、校舎内には入ることが出来ませんでした。残念でしたが、校内をご案内いただき、校舎外景や体育館、グラウンド、そして現在建設中の講堂・聖堂の状況を見学させていただきました。栄光と同様に、自然に囲まれた素晴らしい環境に施設が展開され、グラウンドも広々。なんと野球場は外野が天然芝で、これにはとても驚きましたが、やはりメンテナンスが大変とのことでした。もう一つ、少しうらやましかったのは、遠方に海が見えること。六甲学院もそうでしたが、やはり海が見えると眺望抜群、開放感がありますね。

野球場の横には、新しい講堂・聖堂を建設していました。創立60周年を2015年に迎えるとのことで、事業予定費は約13億円で、寄付金の募金目標額を2億円としています。(詳細は広島学院ホームページをご参照ください。)

広島学院を30分程度見学させていただいた後、栗屋会長と三谷事務局次長とともに広島駅の会場に向かいました。ちなみにここでご用意いただいたタクシー会社の「つばめ交通」は、広島学院同窓会副会長の山内氏が役員をされているとのこと。また、ホテルも広島学院OB関連とのことでした。広島での学院の存在感の大きさを感じました。

会議は14時から2時間程度行われ、幹事の広島学院の司会で進行しました。会議の概要は以下の通りです。

《会議の概要》

1 日時:会議 2014年11月15日(土)14:00~16:00(懇親会16:30~18:00頃)

2 出席者

広島学院:会長、副会長4名(うち1名関東支部長)、事務局長、事務局次長、事務局員(懇親会のみ参加、広島学院三好校長先生)

(2)六甲学院:会長、副会長2名、事業委員長

(3)上智福岡:副会長

(4) 栄光学園:会長、副会長

3 会議の概要、議事等

(1) 自己紹介後、各校同窓会の近況をそれぞれ紹介した後、議事に入った。

(2) 各議事について、意見交換、議論を行った。議事は以下の通り。

ア 同窓会名簿について

イ 東ティモール支援について

ウ イエズス会校同窓会世界連盟について

エ その他

各校からの近況として、広島学院からは、①ホームページ更新:閲覧パスワード制限を減らし、フェイスブックと連動させ、情報更新も容易にした。②第1回広島地区会員交流会開催:本部地区の会員交流活性化のため年1回大学生会員の歓迎を兼ねた会の開催。③定期的な活動:広報、会員交流、支部活動、ゴルフコンペ、JJHAFサッカー交流試合など。④母校創立60周年記念事業:募金活動や文化祭への参加などが報告されました。

六甲学院からは、同窓会誌「伯友」により各支部会の活動が紹介され、特に「東京伯友会サロン」OPENについて詳細の説明がありました。六甲学院OBが普段は事務所としている場所を提供し、同期会や懇親会の会場として提供。毎月第3木曜日に「三木会」という定例会を開催しているそうです。また、名簿については、副会長、各委員長、常任幹事の各3名ずつ計9名で検討委員会を立ち上げ、検討しているとのことでした。

上智福岡からは、男女共学3年目となるが、上智大学に15人が推薦入学したことが紹介されました。また、校舎を改築にあたって寄付では相当苦戦していること、役員の若返りを図りたいことなどの課題が説明されました。

個別議題として、昨年に引き続き名簿について意見を交わしました。いずれの同窓会も、名簿発行の意義、財政面、紙面か電子媒体か、などのさまざまな課題を抱えていることは概ね共通しているようです。特徴的な意見として、①広島学院は、基

本的に現状の紙面による名簿発行を堅持する。

②六甲学院は、平成27年の4～5月に向けて、今後の名簿のあり方について検討を進める。③上智福岡は、名簿発行を含め、全体的に検討中である。などが発言されました。本同窓会としても、引き続きの懸案事項であることは明らかですので、各校同窓会の動向を参考にして、検討していく必要があります。

東ティモール支援については、各校で対応が異なり、寄付や学校への募金、協力など様々な形で工夫していることが報告され、引き続き各校で学校と同窓会が協力するなどして50万円ずつ支援することが確認されました。

イエズス会校同窓会世界連盟については、前々回(第30回)のJJHAFで、派遣を見送った経緯があることを踏まえ、まずは広島学院からコンタクトをとり、会費のことなどを把握することになりました。

まだまだ議論が尽きない中、開会后2時間があったという間に経過し、次回幹事が上智福岡であることを確認して、とりあえず会議を終了しました。会議終了後、同会場で懇親会が行われ、さらに各校の親交を深めるとともに、議事録には掲載し難い「情報の共有」を行い、大いに盛り上がりました。懇親会から広島学院の三好校長先生も合流され、ご挨拶をいただきました。三好先生は、六甲学院の32期生(栄光の23期相当)とのことでした。各校は所在地域が異なり、参加者は仕事も年代も違うのですが、そこはやはりイエズス会校での教育を受けた者同士、何の隔たりもなく会話は弾み、大いに盛り上がり、時を忘れるほど楽しく有意義な会でした。次回、福岡での再会を参加者全員で確認し、午後6時過ぎに散会となりました。